

イザリーイ・ゼムツォーフスキイ教授について

森田 稔

イザリーイ・ゼムツォーフスキイ教授は民俗学者・民族音楽学者である。「一つの民族だけを知ること、一つの民族も知ることにはならない」というモットーに従い、彼はスラヴ諸族とそのユーラシア諸民族との関わりを専攻している。そこにはコーカサスと中央アジア、そしてロシア・ユダヤの音楽が含まれる。彼の学問的興味には、音楽と民族の起源、歴史に対応する音楽史としての音楽、聴取の民族学、フォークロアと地理学、口頭伝承のポリフォニー、音楽と絵画などがある。

彼はロシアのサンクト・ペテルブルグ生まれで、サンクト・ペテルブルグ音楽院（ドミトリ・ショスタコーヴィチの弟子ガリーナ・ウストヴォーリスカヤの指導下）で作曲の学士号を、サンクト・ペテルブルグ大学でロシア民族学の修士号（ヴラディーミル・プロップの指導下）を、そしてサンクト・ペテルブルグ音楽院（フェオドーシイ・ルプツォーフとヴァディム・サルマーノフの指導下）で民族音楽学と作曲の修士号を取得した。民族音楽学の博士号はロシア国立・劇場・音楽・映画研究所で、また民族学及び民俗学の教授資格はウクライナ芸術・民族学及び民俗学研究所で取得した。

1960年以来、ゼムツォーフスキイ教授は、サンクト・ペテルブルグのロシア国立芸術史研究所に勤務。1969年には民俗学部門の設立に寄与し、ペレストロイカ直後にその議長を勤めた。1989-1993年にはサンクト・ペテルブルグ・ロシア教育大学のシベリア及び極東諸民族伝統文化に関する新部門で議長を勤めた。1994年からは、アメリカUCLAの民族音楽学部門の客員教授として講義を担当し、以来、カリフォルニア大学ロサンジェルス校、ウィスコンシン大学マディソン校、カリフォルニア大学バークレー校、そしてスタンフォード大学で教鞭をとってきた。2006年以来、彼はシルクロード研究室——ベイ・エリアの実験的非営利組織で、カリフォルニア州バークレー市の新しい文化・教育組織「シルクロードの家」——設立委員会委員長でもある。彼の妻で、民族音楽学者のアルマー・クナンバーエヴァ博士が、同センター長を勤めている。

彼は、『民族音楽学』誌に掲載された最優秀論文に与えられるヤープ・クンスト賞、カリフォルニア大学バークレー校のアーネスト・プロッホ教授職賞、及びウィスコンシン大学マディソン校ブリッテンガム客員教授賞を授与された。また、(ユネスコ) 伝統音楽国際委員会組織委員会委員や、ユダヤ音楽協会（ペテルブルグ）副委員長ほか、多くの組織で重責を担ってきた。『ニューグローヴ音楽事典』第2版（第27巻、2001年）や『音楽人名事典』（第八版以降）、『功労者人名事典第6版』などには彼の項目があり、アメリカ人名協会は、2006年に彼を21世紀の偉大な人物の一人に挙げた。

ゼムツォーフスキイ教授の著作は膨大である。最新の著書『口碑伝承の世界から：回想録』を含めて、550篇以上もの論文が様々な言語で出版されている。彼を記念して、二つの論集（2002年と2010-11年刊行の二巻本）も出版された。

（宮城教育大学名誉教授）

イザリーイ・ゼムツォーフスキイ教授の履歴

学歴・職歴

- 1955 サンクト・ペテルブルグ音楽院で学士号取得（作曲及びピアノ）
- 1958 サンクト・ペテルブルグ大学でロシア言語学修士号取得
- 1960 サンクト・ペテルブルグ音楽院で芸術学修士取得（ロシア民族音楽学）
- 1961 同音楽院で芸術学修士号取得（作曲）
- 1964 サンクト・ペテルブルグ劇場・映画・音楽研究所で、「ロシアのプロチャージナヤ民謡」の研究により民族音楽学博士号取得
- 1981 ウクライナ科学アカデミー・キエフ芸術・民族学及び民俗学研究所で、「農耕歴民謡の旋律」により民族学及び民俗学博士号取得
- 1958-1960 ロシア・ペテルブルグ音楽学校ピアノ伴奏者
- 1960-1995 サンクト・ペテルブルグ劇場・音楽及び映画研究所（ITMK）フォークロア部門研究員（1969まで）を経て上級研究員
- 1987-1996 ロシア作曲家同盟サンクト・ペテルブルグ支部（1961年以降会員）フォークロア部門責任者
- 1989-1993 サンクト=ペテルブルグ・ロシア教育大学シベリア及び極東諸民族伝統文化部門責任者
- 1994-2007 カリフォルニア大学ロサンジェルス校、同大学バークレー校、スタンフォード大学カリフォルニア校、ウィスコンシン大学マディソン校で客員教授、臨時教授として教鞭をとる。担当科目はスラヴ学、音楽、人類学など。
カリフォルニア大学バークレー校スラヴ、東欧及びユーラシア研究所客員研究員（1998-99、および2004-07）
- 2007-2009 スタンフォード大学音楽学部及びスラヴ学学部客員教授

その他（学会活動、称号授与など）

- 1961- ロシア作曲家同盟会員（現在まで）
同サンクト・ペテルブルグ支部フォークロア部門責任者（1987-1996）
- 1969- 民族音楽学会（EMS、アメリカ）会員（現在まで）
- 1985-1996 ロシア科学アカデミー連絡委員会会員
- 1989-1993 国際伝統音楽協議会（ICTM, UNESCO）執行委員会委員
- 1991 ロシア共和国芸術功労者に指名される
- 1992-1996 サンクト・ペテルブルグ、ユダヤ音楽協会副会長
- 1993- アメリカ・ユダヤ音楽協会会員（現在まで）
- 1993-1997 国際伝統音楽協議会（ICTM, UNESCO）ロシア連絡委員
- 1994-1996 現代デルポイ競技（芸術オリンピックに相当）のための国際デルポイ委員会副委員長
- 1995-1997 国際デルポイ運動ロシア会長
- 1994- カリフォルニア州ロサンジェルス市ユダヤ文化創造センター諮問委員（現在まで）
- 1996- スラヴ研究推進アメリカ委員会委員（現在まで）
- 1997- アメリカ・スラヴ東欧フォークロア協会会員（現在まで）
- 1997 『民族音楽学』誌に掲載された最優秀論文に与えられるヤープ・クンスト賞授賞
- 1998春 カリフォルニア大学バークレー校音楽学部アーネスト・ブロッホ教授資格
- 2000秋 ウィスコンシン大学マディソン校ブリッティングハイム奨学金
- 2006 グルジア共和国V.サラジシヴィリ記念国立音楽院名誉教授
- 2006 アメリカ人名協会から「21世紀の偉大な知性」に指名される

イザーリイ・ゼムツォーフスキイ教授の主要業績

Русская протяжная песня, изд. «Музыка», Ленинград, 1967 [*The Russian Drawn-Out Song*, Music Publishing Company, Leningrad, 1967 『ロシアのプロチャージナヤ〔引き伸ばされた〕民謡』、音楽出版社、レニングラード、1967]

Тропецкие песни : песни родины Мусоргского, изд. «Музыка», Ленинград, 1967 [*Songs of Toropets: Songs from the Homeland of Mussorgsky*, Music Publishing Company, Leningrad, 1967. 『トローペツの民謡：ムーソルグスキイの故郷の民謡』、音楽出版社、レニングラード、1967]

Поэзия крестьянских праздников, изд. «Советский Писатель», Ленинград, 1970 [*The Poetry of Peasant Holidays*, Soviet Writer's Publishing Company, Leningrad 『農民の祝日の詩』、ソ連作家出版社、レニングラード、1970]

Мелодика календарных песен, изд. «Музыка», Ленинград, 1975 [*The Melodics of Calendar Songs*, Music Publishing Company, Leningrad, 1975. 『農耕歴に係わる民謡の旋律法』、音楽出版社、レニングラード、1975]

Фольклор и композитор, изд. «Советский Композитор», 1978 [*Folklore and the Composer*, Soviet Composer's Publishing Company, Leningrad, 1978. 『民謡と作曲家』、ソ連作曲家出版社、レニングラード、1978]

По следам весняки из фотепанного концерта П.Чайковского :Историческая морфология народной песни, «Музыка», Ленинград, 1987 [*On the Trail of the "Vesnianka" Melody in Tchaikovsky's Piano Concerto: The Historical Morphology of the Folk Song*, Music Publishing Company, Leningrad, 1987. 『チャイコフスキイのピアノ協奏曲の旋律「ヴェスニャンカ（春の歌）」の旋律を訪ねて：農村民謡の歴史的形態学』、音楽出版社、レニングラード、1987]

Героический эпос жизни и творчества Бориса Н.Путилова, Европейский Дом, Санкт-Петербург, 2005 [*The Heroic Epos of the Life and Works of Boris N. Putilov*, European House, St. Petersburg, 2005. 『ボリス・プティローフの生涯と研究の英雄叙事詩』、西欧館、サンクト＝ペテルブルグ、2005]

Из мира устных традиций:Заметки впрок, Итститут русской литературы, Санкт-Петербург, 2006 [*From the World of Oral Traditions: Collected Reflections*, Russian Institute for the History of the Arts, St. Petersburg, 2006. 『口頭伝承の世界から：回想録』、ロシア芸術史研究所、サンクト・ペテルブルグ、2006]